

開 会 挨拶

座長 中村 信一

開会に当たり、一言御挨拶申し上げます。

北陸地域連携プラットフォームでは、これまで「地方創生」をテーマとした議論などを行い、その結果を地域に向け発信してまいりました。

さて、国内では、ウィズコロナの下、経済社会活動の正常化が進んできましたが、その後、原材料価格の高騰等に伴う世界的な物価上昇のほか、サプライチェーンの混乱に伴う供給面の制約など、新たな試練を迎えています。同時に、本格化する人口減少・少子高齢化、潜在成長率の停滞、気候変動問題などへの対応は引き続き大きな課題として残されています。

北陸地域の産業の基盤である製造業をみても、燃料価格や原材料価格の高騰のほか、部品調達難が利益を圧迫している企業もあります。一方、ウィズコロナの下での経済活動再開に加えて、円安の進展は国内製造業にとって価格競争力の点でビジネスチャンスとなり得るものですが、大きなボトルネックとなるのが「人手不足」と考えます。

そもそも、コロナ前から普遍的な課題として「人手不足」が続いており、高齢化による技能承継などの問題も存在しています。

こうした本質的な課題に対応し、北陸地域の製造業が今後さらに発展するためには、新たな技術を駆使した設備投資、システム投資を行うことで、人手不足の解消を含む省力化・効率化に取り組むとともに、人材育成や人材確保のための魅力ある職場づくりにも取り組んでいかなければならないと思われまます。同時に、付加価値を高めた製品の開発、販売など、生産性の向上につなげていくことが重要になると考えられます。

本日は、北陸地域の「ものづくり」の安定的な基盤を維持し、更なる発展につなげるため、製造業における人手不足の解消、生産性の向上に向けた取組について、主に設備投資といったハード面を中心に議論していきたいと考えております。

メンバーの皆様には、積極的な御発言をお願いしまして、簡単ではありますが、座長挨拶といたします。

以上